



私とアテローム
(粉瘤)

やぶちゃん

アテローム（粉瘤）①

アテローム（粉瘤）ってご存知でしょうか？

バンバンに腫れて痛みが伴い、その部分を下にして寝れないほどになってからその名前知りました。

20年位前から背中の中肩甲骨の部分に小さなニキビのようなものが出来てきました。数ヶ月すると腫れてくるのでニキビのようにぎゅっと押すと、脂肪のようなものが出てきました。

数ヶ月に1回程度です。

子供たちが小さいうちは面白がっていました。

さあ、それから20年近くたって上記の状態になった訳ですが。

その、痛いこと！

痛みには何種類もあるのですね。

このばあいは、鈍痛と呼べるもので切り傷のような鋭利な痛みではありませんが、とりあえず痛いのです。

救急で診てもらって直ぐに、『膿を出してください』とお願いしましたが残念でした。昼間にきちんと診察してくださいと言われました。

さあ、診察の結果はいかに？

関東労災病院のHPより引用



写真は関東労災病院のHPにリンクしています。

2010.02.08 Mon

アテローム（粉瘤）② 診察

診察した結果は。

あまりに大きくなりすぎて、炎症もきついで『手術します！』です

病名はこのとき始めて知りました。

『アテローム（粉瘤）』です。

てっきり、皮下に脂肪が溜まっていてそれが逃げ道が無くなって化膿したのかな？
とっていたのですが、違いました。

剥落した古い皮膚のカスが毛根などの中にたまり、どんどんその膿ほうが大きくなっていくそうです。

脂肪だと思って搾り出したりしていると、雑菌が入り込み化膿して最悪は破裂するそうです。
私の場合は破裂寸前、当然手術です。

軽く考えていたのですが、とんでもない手術の経過は次回で

2010.02.13 Sat

さて、手術です。

ホントに簡単に考えていました。

処置室で済むと思っていたのですが、とんでもない！

きちんと手術着に着替えて、あのライトが煌煌とした手術室です。

うつ伏せになり、背中を丁寧に消毒してさあ開始です。

え！ちょっとした手術だと思っていたのに外科の先生が二人もいます。

『電気メスで切ります』・・・

電気メスと言うのは生まれてはじめてのことでしたが、驚きましたね！

気の弱いかたは、これ以降は読まないでください。

ですから、ちょっと行を空けますね！

・
・
・
・
・
・
・
・

電気メスというのは、音も無くスーっと切れると思っていました。

違うんですねえ、皮膚の焼ける音がするんです。

『ジッ・ジッ・ジッ・ジッ・ジッ・・・』っと

まあ、麻酔のお陰で痛みは無いのですが。

『アテローム（粉瘤）が大きいので、全て取りますね！』

驚きましたねえ、肉の焼けるにおいまでするんですよ。

自分の肉が焼けるんですよ！ビックリしたなもう！

で、まあ無事手術は終わりました。

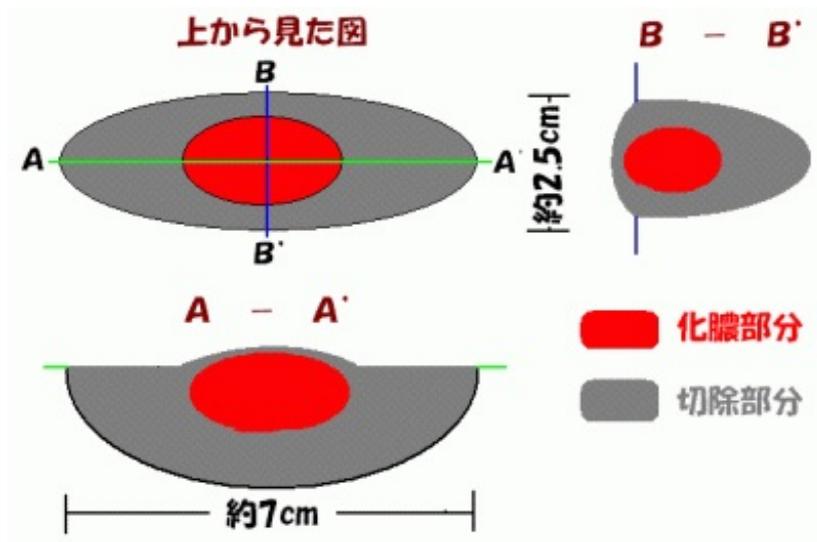
先生が切り取った部位を見せてくれました。

意外と大きいんですよこれが。

先生の説明では、全て取りきらないと化膿部位が再発して後々大変らしいです。

切り取った部位の大きさは

7cm × 2.5cm 位はあったように思います。



次回は、術後の写真有りです。

あまり、気持ちの良いものではありません。

私の場合はもっと大きかったですが！

関東労災病院のHPより引用



写真は関東労災病院のHPにリンクしています。2010.02.24 Wed

アテローム（粉瘤）④ 術後

手術のあと2週間は風呂に入れません。
2週間と言うのはまったく想定外でした。

これは、大変ですよ。

もともと、1日に2回は風呂に入る生活が永く続いています。
それが、2週間も入れないのですよ！

傷口はしっかりとテーピングされているうえに、縫合後が引っ張れてうまく動かさせません。
その上、大きく切り取っているためにきつく縫ってあるのですが、あまり引っ張りすぎると傷口がパッキリ開いてしまいますそうです。

手術は左肩甲骨の部位なので右肩を下にしてしか横になれません。
寝返りが打てないのは結構辛いですよ。

ところで、縫合の仕方なのですがちょっと変わっています。
普通は、傷口を引っ付けるように縫うみたいですが、今回は下の写真の様に肉の部分をきつく引っ張って縫い合わせています。

当然術後の傷跡は大きく残ります。
私の場合はどう言う訳か50歳くらいから傷口が直ぐにケロイドになるようになって来ました。
たぶん、皮膚の老化でしょうね！

今回も同じです。

で、術後の縫合ですが、

切除部が大きく深いため、皮膚を縫合するだけでは、
接合（癒着）するまでに動いたりすると傷口がはじけてしまうので、
以下のように深部と浅部の2箇所を一緒に縫合したそうです。
(素人なので下の絵は想像で書いています)



2週間後の写真です。

見たくない方はここでお止めください。

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・



2010.03.03 Wed

アテローム（粉瘤）⑤ その後

手術をしたのは2年5ヶ月前です。

下の写真が現在の状態です。

前回にも書きましたが、私は傷跡が直ぐにケロイドになります。

ちょっと引っかいた後も、蚊に食われた痕もです。

この傷跡もやはりケロイド状になりました。

痛みは無いのですが、時々無性に痒くなります。

きつく搔くと皮膚が弱いので血が出ます。

やむを得ずパンパンとたたいてごまかしています。

写真を良く見ると、縫合した傷跡も点々と残っています。

現在の状態



手術後すぐ



いまさら、人に肌を見せることも無いですが、最近流行のスパとか日帰り温泉などでは気にしますね。

ひょっとして、今ならもう少し手術方法が変わっていて、縫合の跡の傷跡も残らないようになっているかもしれませんね。

また、もっと早くこの病気を知っていて早い時期に処置をしていたらこんな傷は残らなかったのに！

若い方たちなら気になって大変でしょうね！きっと。

私の場合は年齢もさることながら、手術痕や怪我の跡で身体中傷だらけなので今更と思えるのですが。

実際、私のブログでもアテローム（粉瘤）記事の投稿数自体は5件と少ないんですが、記事別のアクセス数は他の投稿よりも群を抜いて一番多いんです。

思い当たる方、我慢しないで早い目に受信されたほうが良いですよ。

2010.03.08 Mon